

## 令和8年度地域課題解決共創事業「One+」 特定テーマ申請書

希望テーマ名	ゆかたで盛岡まちなかを遊び尽くそう！～回遊型ゆかたフェス拡張プロジェクト～
テーマ要旨 (課題の概要)	<p>盛岡市では「ゆかたのまち盛岡」推進事業実行委員会を組織し、協賛店サービスやポスター掲出、SNS 発信等により、ゆかた文化の振興と中心市街地の賑わい創出に取り組んできました。</p> <p>しかし、コロナ禍から令和6年度までの取組では、協賛店利用促進を目的とした事業を実施するも、思うような結果が得られず、ゆかた着用や店舗利用、回遊行動に十分つながっていないことが課題となっていました。</p> <p>また、協賛店アンケートでは「キャンペーンを知らない来店者が多い」「周知不足」「企画内容に魅力を感じにくい」などの意見があり、企画の魅力向上や参加しやすい仕組みづくりが求められていました。</p> <p>こうした課題を踏まえ、令和7年度には高校生が中心となり「Enjoy！ゆかたフェス」を企画・実施し、ゆかたの着付けや胡粉ネイル体験、高校生バンドによる音楽フェス及び周辺店舗を紹介するマップ配布などを行いました。結果として来場者数 391 人、ゆかた着用者 89 人となり、若年層を中心に「ゆかたを着るきっかけづくり」として一定の成果が得られました。</p> <p>一方で、フェスの会場は主にプラザおでって周辺にとどまっており、中心市街地全体へ回遊を促し、商店街や店舗利用につなげる「面的な広がり」は今後の課題です。</p> <p>そこで令和8年度においては、令和7年度に実施した「ゆかたフェス」の成果を基盤としながら、高校生グループと協働し、学生ならではの視点を活かした中心市街地全体に波及する仕掛け（回遊導線づくり、参加型企画、SNS 発信、店舗連携企画等）を加えることで、「ゆかたを着て街を歩くこと」が盛岡の夏の文化として定着し、賑わい創出と地域経済への波及につながる取組へ発展させたいと考えています。</p>
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆかたのまち盛岡」の認知度向上・若者世代への浸透       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 若年層が企画・運営・発信に関わることで、同世代への情報拡散が進み、「ゆかたのまち盛岡」がより身近な文化として定着することを期待します。</li> </ul> </li> <li>・中心市街地の回遊性向上・滞在時間増加       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ フェス会場を起点に、商店街や周辺店舗を自然に回遊したくなる仕掛けを構築することで、中心市街地全体への波及効果を高めることを期待します。</li> </ul> </li> <li>・店舗利用促進・地域経済への波及       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 協賛店や商店街と連携した企画を通じ、イベントが単発の集客に留まらず、店舗利用や消費行動に繋がるモデルづくりを期待します。</li> </ul> </li> <li>・持続可能なイベントモデルの構築       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 「次年度以降も続けられる運営体制」「回遊企画の仕組み化」「効果検証」の視点を盛り込み、継続性のある取組へ発展させることを期待します。</li> </ul> </li> <li>・地域と関わる体験を通じた学生の人材育成       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 商店街や事業者、関係団体等と協働することで、企画力・実行力・課題解決力を養い、地域と共に成長する人材育成につながることを期待します。</li> </ul> </li> </ul>
担当所属	商工労働部経済企画課
担当者氏名	那須 俊之介

連絡先電話番号	019-613-8389
E - m a i l	keizai@city.morioka.iwate.jp
協 力 内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 必要に応じた商店街や民間事業者とのコーディネート支援</li><li>・ 活動の進捗に応じた伴走支援</li><li>・ 市が保有する情報の提供 等</li></ul>
そ の 他	質問事項や相談等について自由にご記載ください。